

一心と身体に響く太鼓一打・民舞の躍動は元気の源、大きな輪になって夢体験

2020年日本のうたごえ 西日本郷土講習会

今福優にふる

2020 日本のうたごえ祭典 in ひろしま全国郷土合同

生命の詩

A コース 和太鼓(長胴・附締)

B コース 民舞 (エイサー・島唄)



日時/5月5日(祝・火)12:30~6日(祝・水)15:30

会場/こうべ輪太鼓センター会館

(JR 兵庫駅から南に徒歩8分)

主催/日本のうたごえ全国協議会

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-16-36 TEL 03-3200-0106 FAX 03-3200-0193

協力/兵庫のうたごえ協議会

〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通 2-1-23 神戸市役所センター合唱団内

事務局/こうべ輪太鼓センター

〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通 2-1-23 こうべ輪太鼓センター会館
TEL 078-685-3535 FAX 078-685-3536 e-mail:kobe@wadaiko-center.com

◇参加申し込み方法◇

◆募集定員 (全体 50～80名)

- A** 生命の詩 ◆中太鼓・締太鼓コース：30～50名
B 民舞・島唄コース：20～30名

※会場の関係等で定員が一部変更になる場合があります。

◆受講料

	一般	協議会加盟	中・高校生	小学生
受講料 (円)	13,000	12,000	9,000	8,000

* 1日参加の場合は、一般9,000円、加盟8,000円、中・高校生6,000円、小学生5,000円

* 宿泊希望の場合は事務局まで早めに申し出て下さい。(実費)

◆申し込み

- ① 下記の申込用紙に必要事項を記入して郵送又はFAX等で講習会事務局までお申し込みください。
 ※必要事項がわかれば、所定の申込用紙以外、メールでもOKです。
- ② 入金方法：申し込み後、1週間以内に受講料を次の口座にお振込みください。ご入金確認次第正式受付とさせていただきます。
 ◇銀行振込 三井住友銀行三宮支店 7634323 こうべ輪太鼓センター
 ◇郵便振替 01120-2-85567 こうべ輪太鼓センター
- ③ 申し込み締め切り：第1次4/18(土)、第2次4/25(土)、最終4/30(木)事務局到着分までを基本。
 ※宿泊を伴う場合は4/18(土)事務局着分まで厳守!(連休中なので確保できない場合があります)

◆諸注意

- ① 持ち物：運動のできる服装と上履きをご用意ください。(更衣室をご利用いただけます。)
 貸しバチ・貸しパーラックはありません。斡旋希望者は事前に事務局までお申し込み下さい。
 バチ、パーラック、足袋は当日会場でも販売しています。
- ② その他：会館には駐車場が8～9台分ありますが、予約はできません。(駐車料金不要)



▲こうべ輪太鼓センター会館



▲JR兵庫駅より南に徒歩8分

■申込み先／**こうべ輪太鼓センター** 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通 2-1-23 TEL 078-685-3535 FAX 078-685-3536
 e-mail:kobe@wadaiko-center.com http://www.wadaiko-center.com /

キリトリ線

2020年『西日本郷土講習会』参加申込書

申 込 書	●氏名 (ふりがな)	●住所 〒			●TEL
	●年齢 男・女				●FAX
	●受講希望コース (○で囲んでください)				●携帯
	A B	購入希望	●バチ _____ 組 ●パーラック _____ 台	●和太鼓・民舞経験 有 (年) ・無	●宿泊 要・不要
					●申込日 年 月 日 ●受付日 年 月 日

講習専科



コースA 生命の詩(中太鼓&締太鼓)

—初心者・経験者—

和太鼓・生命の詩

講師 今福優

『生命の詩』プロジェクト

『生命の詩(いのちのうた)』は、今福優作曲の和太鼓合同曲です。2004年に熊本県立劇場での『未来に打て～今福優熊本リサイタル10周年記念公演』にて初演、熊本の太鼓仲間や島根の子ども達と総勢100名で打ち鳴らしました。あれから現在に至るまで、老若男女問わず太鼓が大好きな仲間であれば誰でも参加して打てるシンプルな曲として全国に広がりつつあります。その後、当時島根県立益田高校の音楽教諭をされていた山崎秀雄氏との出会いがあり、先生の働きかけで『生命の詩』のコーラス曲が誕生します(作曲／山崎秀雄、作詞／今福優)。

「今を一生懸命生きる」というメッセージが、歌が加わったことによってより色濃く表現できるようになり、小学生から大人まで広く愛される曲として歌い継がれ打ち継がれています。このコーラス＋和太鼓合同曲『生命の詩』は、シンプルで強いメッセージが人を繋ぎます。演奏者同士を繋ぎ、観客を繋ぎ、みんながひとつになれる曲です。大人数で打つ醍醐味も味わえるとともに個性を打ち出せる部分もあるため、より多くの人々に演奏して頂き、その瞬間の喜びを感じてほしいとの願いから『生命の詩』プロジェクトとして国内のみならず海外でも普及活動をおこなっています。



匹見春祭り地元チーム合同演奏



コースB (民舞)

—民舞初心者・経験者—

エイサー・島唄

講師

琉球國祭り太鼓兵庫支部



「島唄」は、もともと奄美群島の民謡を指す言葉である。しかし THE BOOM が沖縄のイメージの楽曲に「島唄」というタイトルを付けて大ヒットさせた為、「島唄」の語義が不正確になってしまったことを嘆く向きがある。一つは「島唄」＝「琉球民謡」として一般に知られたことにより、もともと奄美群島の民謡を指す言葉であった「島唄」という言葉が琉球民謡を指しても使われるようになったこと。これは狭義の「島唄」(奄美民謡)の担い手(唄者)と、琉球民謡の担い手との双方の一部にこのことを嘆く立場が存在する。もう一つは、「島唄」＝「THE BOOM の島唄」という認識が強くなってしまったことで、もともとあった伝統的な「島唄」の影が薄くなってしまったことである。この唄を発表した、宮沢和史さんは、“沖縄の戦争に心を悼め、平和を願う”意味を切々と語られている。パーランクを持って踊る雄姿は、見る者の魂に響き、心を奮い立たせてくれるに違いない。

《講習会スケジュール》

1日目・5/5(祝・火)

12:00 受付開始

12:30 開講・全体会

13:00 コース別講習Ⅰ

17:00 講習会終了

18:00 被災地支援

「日中異文化交流コンサート

&うたう会」で交流(講習会参加者は無料)

20:30 終了～自主交流

2日目・5/6(休・水)

9:30 コース別講習Ⅱ

12:30 昼食

13:30 コース別講習Ⅲ

15:00 全体会、成果発表

15:30 閉会

和太鼓・生命の詩

今福優

島根県益田市匹見町を拠点として活動している太鼓打ち。24歳の時に田耕(でんたがやす)氏率いる和太鼓グループ『鬼太鼓座』に入座、国内外の公演に参加。4年後に脱退したのち、7年間のサラリーマン生活を経て3尺1寸の大太鼓を含む太鼓一式を購入、ソロ活動を開始する。

その大太鼓の打ち込みに定評があるほか、自身のふるさとに伝わる石見神楽を舞台用にアレンジした作品も数多く生み出している。

2004年～2008年、東京で開催されてきた『青山太鼓見聞録』に出演。近年ではフランス・オーストリア・カナダ・モロッコなどへの海外遠征も行う。

また、後進への指導にも力を入れており、和太鼓を通じた子供の育成や学校公演も精力的に取り組んでいる。



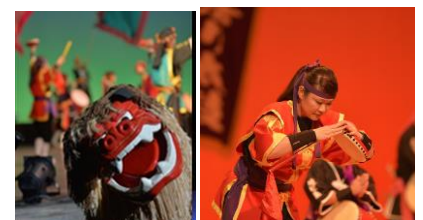
エイサー島唄

琉球國祭り太鼓兵庫支部

「琉球國祭り太鼓」は、沖縄の伝統芸能である「エイサー」をベースに、沖縄空手や琉球舞踊の型を取り入れた独自の振り付けとダイナミックなバチさばきで演舞をする、沖縄を代表する「創作エイサー団体」。1982年に沖縄市の泡瀬を中心とした若者たちによって結成されて以来、沖縄が大切にしてきた「迎恩」の心を打ち響かせてきている。エイサーとは盆踊りにあたる沖縄伝統芸能のひとつで、各地域の青年会がそれぞれの型を持ち、旧盆の夜に地域内を練りあるきながら大太鼓や締太鼓を打ち鳴らす。

2016年2月現在、日本国内に46支部、そして海外には12支部があり、総勢約2,500名あまりの世界規模での広がりを見せている。

2009年より「地球スペシャルエイサーページェント」と題し、沖縄と日本各地の支部及び海外支部を結んで「同時刻同時演舞」を実現してきている。2015年までに7年連続で同イベントを自主開催し、地球を舞台にした活動を続けている。沖縄の文化を世界へと、会員一同、新たな感動の創出に取り組んでいる。



被災地支援 **日中異文化交流**
コンサート&うたう会

5/5 (祝・火) 18:00 ~20:30
こうべ輪太鼓センター会館
(神戸市兵庫区芦原通2-1-23)



今福優



李亜輝(二胡)



アンサイ合奏団
(二胡)



太鼓衆団輪田鼓(和太鼓)

神戸市役所センター合唱団
(合唱)